



Report

愛知県下アマチュア人形劇団・合同製作

人形劇団ひつまぶし『うたのすきなりゅう』 コロナ禍を乗り越えてオリジナル新作を初演

人形劇団ひつまぶしは、愛知県下のアマチュア人形劇団などに所属するメンバーが集まり、合同で人形劇の製作・上演を行っている劇団です。2019年、愛知人形劇センターと人形劇場ひまわりホール30周年を記念して結成し、作品製作を行いました。同年、ひまわりホールでの上演をはじめ、いいだ人形劇フェスタ(長野県飯田市)や春日井人形劇フェスティバルに参加。翌2020年1月には横浜人形の家で開催された「新春人形劇まつり2020」にも遠征。メンバーが活動の余韻に浸り、さらに新作を製作して各所で公演しようと思いついた時に新型コロナウイルスの影響を受けました。集まって活動する事が難しくなってしまいましたが、オンラインで会議をしつつ(半分呑みながら)新作の製作を模索。当初、2021年に初演見込みでしたが、度々の感染拡大によって延期を繰り返す事に。それでもメンバーの熱意と関係者の努力の甲斐もあって、2022年7月、ようやく待ちに待った新作初演を迎えることができました。

新作はオリジナル脚本による『うたのすきなりゅう』。今回、2019年のメンバーに加え、新たに4人が活動に参画。中には初めて人形劇に関わる人もいて、厳しくも楽しく作品製作を行ってきました。8月には、いいだ人形劇フェスタにも上演参加予定です。

今後もアマチュアメンバーの交流を深めつつ、愛知の人形劇界を盛り上げていきましょう! ご期待ください。

愛知人形劇センター理事 伊藤進

2022年度・新作『うたのすきなりゅう』
脚本・演出:たかはしいちげん(人形劇団わたぐも)
音楽:花井喜正(バネル・あそび場「ばばんた」)、
たかはしいちげん(人形劇団わたぐも)
人形美術:兎玉典子 宣伝美術:丸山千治
参加メンバー所属
人形劇団おたまじやくし、人形劇団櫻でんぶ、
人形劇団とかち、バネル・あそび場「ばばんた」、
バネルほなな、人形劇団わたぐも、人形劇団紙風船



Report

人形劇界を担う新たな人材育成事業 「ひまわりホールアートラボ」“特盛”始動!?

この夏、人形劇研究育成事業として新企画が始動しました。「ひまわりホールアートラボ」。かつて挑戦的な作品を発表し続けたOPTの母体、オブジェクトパフォーマンスカラッジが閉校して久しいのですが、この度、身体とオブジェのスキル向上と作品創造の場として企画が立ち上りました。時代を担う人形劇人を育成したいという大義名分はあるものの、本当のところ、このコロナ禍で息苦しい、何かしなぎや、刺激が欲しい、そんな気持ちが爆発しました。愛知人形劇センター理事会でも、開催の意義、規模、内容、タイミング、ニーズがあるのか等、厳しい指摘を多数もらい、この企画をいま開催する意味をより見出していました。

まずは、発掘・育成・交流・向上・創造を軸に“強い演劇人”を目指します。講師は大野正雄(人形劇団むすび座)、ゆみだてさとこ(Puppet Theaterゆめみトランク)、LONTO(ラストラーダカンパニー)、ニノキノコスター(オレンヂスタ)、ヨコヤマ茂未(美術家)と、難しさを感じました。そこから今度は、ハードな運動系とは全く違う美術家・ヨコヤマ茂未のクラスへと。テーマは自分の「1」を探す。これだけ書いても全く意味がわからない美術講座だが、アートの視点から自己分析と表現を同時にすることかな、違うかな? 最後は、ベテラン・大野正雄。棒を振りまわし、手のひらでバランスを取って、拳句、チャンバラ。この人が大人げない、というか、一緒に参加した講師や理事がまた大人げない。まだ少し警戒心のある研究員を差し置いて自分たちが楽しむ姿に、ラボの成功を既に予感する一日となりました。

是非とも温かく見守っていただきたいと思います。

愛知人形劇センター理事 Chang



News

愛知人形劇センターPresents

『人形劇 寿歌』

日本演劇史に輝く名作の初人形劇化、現場速報!

1979年に初演された『寿歌』は、愛知を拠点に活動する劇作家・北村想さんの代表作です。北村さんが率いていた劇団、T・P・O師★団や彗星'86、プロジェクト・ナビで上演された初演や再演は、今でも伝説のように語り継がれています。

そんな小劇場の名作を、愛知人形劇センター企画制作により、人形劇として新たに製作します。全国各地で幾度となく上演された『寿歌』ですが、人形劇で上演されるのは今回が初めてのことです。トピックはそれだけではありません。なんと、『寿歌』の作者その人である北村想本人が、声の出演でゲサクを演じるという! このニュースが発表されるやいなや、瞬く間に話題騒然となりました。

演出は、愛知人形劇センター主催で挑戦的な人形劇をいくつも手がけてきたオレンヂスタのニノキノコスターが、また人形美術には、絵画を中心活動するヨコヤマ茂未が挑戦します。人形操演は、オブジェクトや身体表現にも長けたPuppet Theaterゆめみトランクとラストラーダカンパニーのメンバー

が務めます。そして長年、北村作品に携わってきたスタッフが脇を固めます。この面々で、また愛知から新たな伝説を創り出すかもしれません。

愛知人形劇センター理事 佐和ぐりこ

愛知人形劇センターPresents
『人形劇 寿歌』

11月30日(水)~12月4日(日)

損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
前売3,500円 当日4,000円

*センター会員3,100円(事前申込に限る)
脚本・監修:北村想
演出:ニノキノコスター

人形美術:ヨコヤマ茂未
声の出演:北村想、莊加真美、山内庸平

人形操演:桑原博之、ゆみだてさとこ、
LONTO、Chang